

生活環境部会

協議会設立の経緯は、少子高齢化時代を迎え生産年齢の減少などの弊害を乗り切るため、住民共助のあり方など新たな住民自治のルールを確立するために設立されました。

この中で生活環境部会は、交通安全・防犯運動・災害対策など地域の皆さんの安全安心確保を目的とした活動を行います。皆さんの意見要望をお寄せください。

1. 地域づくりの方針

災害の発生予防と発生時の避難対策(住民への連絡方法、避難先の確保)の住民への周知をはかり「災害時一人も犠牲者を出さない」を目指し、自然環境を生かしながら国道143号線および各県道を中心とした生活環境を整備して子供から大人までが「安心・安全で暮らせる」地域づくりを目指します。

2. 地域の課題

- ①道路が狭い
- ③防犯・防災問題
- ②空き家、空き店舗の増加
- ④交通量の増加

3. 事業計画

- ①国道143号線の整備計画の早期実現に向けた活動の推進
- ②通学路・生活道路の安全対策の推進
- ③空き家、空き店舗の実態を把握し行政と連携して対策を図る
- ④災害危険箇所の把握と地域住民に周知するとともに危険箇所の改修
- ⑤安全会議の設立
- ⑥環境保全・街並みの美化

福祉部会

皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。私こと福祉部会長の大役を仰せつかりました。高齢で微力ですが全力で取り組んでまいり所存です。

少子高齢化の流れは止まらず、昨年来新型コロナウイルス感染症により生活も一変し、複雑な社会問題も発生しました。

そんな中、子供・高齢者をはじめとして全ての人々が安心して暮らし易く、お互い寄り添い支え合える地域を目指して、皆様のご意見を伺いながら小さなことから始めたいと思います。どうかご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 地域づくりの方針

行政機関・福祉関連団体と密接な連携のもと、川辺泉田地域の方々が健康で安心して暮らし易く、思いやり助け合える地域、明朗で健全な地域づくりを目指します。

2. 地域の課題

- ①高齢化に伴い免許証返納者が多くなり、通院・買い物に不便。
- ②公共交通に地域格差がある。
- ③高齢化に伴い健康維持に不安を感じている。
- ④高齢者独居が増え孤立化が心配される。
- ⑤独居高齢者への心配事相談窓口の周知。
- ⑥高齢者が気軽に集える場所の不足。
- ⑦同上、運営する人材の不足・育成。
- ⑧共働き家庭の子供を安心して預けられることの出来る安価な施設が無い。
- ⑨障がいを持たれる方の情報が無く、住まわれる施設も無い。

3. 事業計画

- ①行政機関・福祉関連団体との密接な連携強化。
- ②高齢者の移動手段検討。(生活環境部会と連携)
- ③高齢者に対し積極的な声掛け・見守り。

- ④福祉関連団体(民生委員・児童委員)の業務内容を広報等で周知。
- ⑤高齢者サロン等を自治会単位で設立出来ないか検討。
- ⑥健康維持のため健康体操の開催を検討。
- ⑦生活利便性のために、行政・民間業者の各種サービス情報の取得と提供。
- ⑧住民の自発的な福祉サービスへの参加。更には起業の啓発。
- ⑨子供食堂の発展的内容による実施。
- ⑩長野大学(社会福祉学部)の皆さんとの意見交換。

商工振興部会

長期化するコロナ禍で、地域のつながりが増々希薄化しております。そんな中、私達の住んでいるこの地域には昔からご商売をしているお店が沢山ありますが、「知らないため利用していない」というケースが多いです。

かわせん地域の経済活性化のために、この課題解決の一助になれるよう頑張っております。

1. 地域づくりの方針

住民に地元企業の「もっと知ってもらい、もっと利用してもらう」ことで、川辺泉田地域の経済の活性化と生活の利便性を向上させ、「深い絆の中で、暮らしの豊かさが実感出来る」地域づくりを目指します。

2. 地域の課題

- ①川辺・泉田地域で商売をしている企業の実態について
- ②住民が地元の企業を利用する機会について
- ③住民と地元企業のマッチングについて
- ④情報発信の仕方について

3. 事業計画

- ①ホームページを活用した企業紹介のさらなる推進
- ②SNSを利用した住民と企業の情報交換の仕組み
- ③印刷媒体(上田市会報や回覧)を利用した企業情報の周知
- ④上田市デジタルコミュニティ通貨「もん」の研究

教育・文化部会

川辺泉田地区自治連の会長をしていた関係で、一昨年自動的にまちづくり協議会副会長となり、この度は当協議会教育・文化部会の部長を仰せつかることになりました。

当部会の今年度の事業内容は、「地域と子供・高齢者」、「地域と伝統行事」を中心に添え、各自治会や小・中学校等と連携して活動していきたいと思っております。

1. 地域づくりの方針

将来地域を背負う子供たちを地域の宝として見守るとともに高齢者については、生きがいのある高齢者時代をすごせるような環境を整備する。

また、歴史的文化を保存するとともに伝統行事の保存・継承につとめる。

2. 地域の課題

- ①近所付き合いの減少
- ④伝統行事の継承
- ②子育てと教育環境
- ⑤史跡・歴史的建造物の保存と活用
- ③社会教育の活性化

3. 事業計画

- ①地域に対する「あいさつ運動」の推進
- ②伝統行事の普及
- ③子供・高齢者の居場所の確保
- ④学校と地域の連携



(モイワズナ)

地元の皆様のご意見・ご要望をお聞かせください

TEL&FAX.0268-75-8812 Email:kawasen-mz@ueda.ne.jp

ホームページからお問い合わせいただけます！

かわせん 上田市

検索

